



今月の記事

- 福祉体験交流
- ユニット自慢
- ショートステイ
- 愛の園ギャラリー
- 今月の愛の園



生活相談員
千葉明大

中学・高校生を迎えて

愛の園では毎年、上富田中学校、熊野高校、田辺工業高校など近隣の学校生徒達による職場実習(インターンシップ)や交流学习が行われ、年間延べ45名程が訪れます。

昨年11月にも田辺工業高校機械科の生徒達が交流学习のため来園しました。

交流学习では、初めに施設の概要について説明しました。入居者の皆さんは車椅子を使用している方が多いため、生徒達に車椅子での介助について実際に操作して学んでもらいました。その後は、ユニットへ行って入居者の皆さんと出会い、お話などで交流を深めてもらいました。最後には歌を披露して楽しませてくれました。

入居者の皆さんからは「孫を見ている様でかわいいですね」、「元気を貰いました」等の言葉があり、とても喜ばれました。

生徒たちは「自分のおばあちゃんを思い出して温かい気持ちになりました。」、「福祉の現場で働く職員の方々の仕事を実際に見

て介護の難しさを実感しました。」との声が寄せられました。

交流学习や職場実習は、生徒達にとって様々な刺激になっていることと思います。中にはこうした機会をきっかけに、将来福祉の仕事をしたと考える生徒もいることでしょう。

愛の園は、生徒達が交流を通じて温かい気持ちになり、人を思いやることの大切さを体験してほしい、また愛の園の働きについても知ってほしいと願っています。これからも積極的に児童・生徒の受け入れを続けてまいります。



音楽サークルに参加する田辺工業高校の生徒



JA 紀南の中家徹組合長さんが、たくさんのみかん、梅干、ジュースを届けてくださいました(1/27)

ユニット自慢!(3) 「2ユニット」

2ユニットはとても賑やかで活気のあるユニットです。

このユニットには、ご自分で歩かれたり、車椅子を利用してご自身で移動が出来たり、また、ご自分の意思をはっきり伝えてくださる方が多くおられます。入居されているお一人おひとりの個性を尊重し、自由に伸び伸びと過ごしていただくよう心掛けています。畑に出かけて野菜や花の手入れをされる方、自室で過ごすのが好きな方、会話や人の気配を楽しみにリビングルームで過ごされる方など、文字通り「十人十色」です。

毎週金曜日の宮崎理事長を交えての茶話会では、入居者の皆さんの生き活きとした表情を見ることができます。お茶を飲みながら、

歌ったり笑ったり楽しく過ごしています。

ユニットに勤務する私たち職員は、こうした皆さんの生活、行動を制限することがないように、それぞれの生活スペースを乱さずに、落ち着いて過ごしていただけるケアを心掛けており、これからも笑顔の絶えないユニットであり続けるよう、努力を続けていきたいと願っています。

入居者の皆さんのより良い生活のために、ご家族の皆さんのお考えもたくさんお寄せいただければ幸いです。ご意見・ご要望は職員全員で受け止め、実現に努めていきたいと思っております。



楽しみにしている宮崎理事長との茶話会



福田登美江 伊藤美奈子 林なるみ 濱口友喜 行森愛美



併設事業のご紹介 (1) 「ショートステイ」



利用される方々の作品が
ユニットを飾っています



利用者の皆さんと懇談する
山本浩美介護副主任

「おはようさん。また来たよ。」 「いらっしい。ゆっくりして行ってくださいね。」

これはある日のショートステイ(短期入所生活介護)でのご利用になる方と職員との朝の始まりの会話です。

ショートステイは、愛の園2階の5ユニットと6ユニットの各10室、計20室で、1泊2日の利用から、それぞれ利用される方々のニーズに応じた日数の中で、生活全般のサポートをさせていただきます。

ご自宅で生活されている利用者の皆さんが、ショートステイをご利用の間も安心して穏やかに過ごしていただくために、ご自宅での生活との違いが大きくなるよう工夫をしています。例えばご自宅で布団を利用して就寝されている方は、ベッドを止めてお部屋に畳を敷き布団を使っています。

起床時間や就寝時間もご自宅と同じ様にさせていただき、それに合わせて食事時間も調整しています。個室をご利用いただけるので、夜遅くまでテレビを見る方や、持参された演歌のテープを聞く方がおられます。また、ご家庭の居間や食堂にあたるリビングルームでは、お互いに名前は覚えていなくても、昔からの知り合いの様に談笑したりゲームをしたりと、様々な過ごし方でゆったりくつろいでいただけます。

ご利用の当初は慣れない雰囲気や場所への不安感からか、緊張されている方もおられますが、そんな方々もご自宅に戻られる日までには穏やかな笑顔になってくださるよう努めています。次回も「また来たで！」と笑顔でお越しいただけるよう、職員も日々笑顔を忘れずに頑張っています。(山本浩美)

愛の園ギャラリー -その後- 園長 武藤直二



昨年2月の紙面で愛の園に寄贈されて館内に掲示されている絵画、書、写真、版画などを「愛の園ギャラリー」としてご紹介し、ご鑑賞くださるようご案内いたしました。その際、厚かましいお願いとして、今後もご寄贈を賜りたいと書かせていただいたところ、新たなご寄贈をいただき、愛の園ギャラリーのコレクションは40点程になりました。

全体的に白っぽい館内を、生花、カーテン、家具、絵画などで飾ることで彩りをもたせ、生活されている皆さんや訪れてくださる皆さんに和んでいただきたいと願っています。

ご芳志をお寄せいただいた皆様、本当にありがとうございました。愛の園の貴重な財産として大切に掲出・保管させていただきます。ご来園の皆さん、どうぞお楽しみください。



「キリストの愛を以って
互いに仕える」

社会福祉法人神愛会
特別養護老人ホーム愛の園

〒649-2103
和歌山県西牟婁郡上富田町
生馬 316-56

TEL (0739)47-1234

FAX (0739)47-4329

ainosono@shinai.or.jp

ホームページもご覧ください。
Web サイト アドレス:
<http://shinai.or.jp>

2~3月の愛の園

- 12(日) 日曜礼拝 おめかしクラブ
- 14(火) マリア会
- 15(水) 手芸サークル
- 16(木) やまびこ会
田辺工業高校生徒来園
- 17(金) 社協ボランティア来園
- 19(日) 日曜礼拝 おめかしクラブ
- 21(火) ひまわり会
- 22(水) 歯科訪問診療
- 23(木) やまびこ会
- 26(日) 日曜礼拝
- 28(火) マリア会

- 1(木) やまびこ会
- 4(日) 日曜礼拝

編集者から

愛の園周辺でも名産の梅の開花の頃となり、まだ寒いながらも春の訪れを感じます。

しかし今、全国的にインフルエンザやノロウイルスによる感染症が流行しています。和歌山県でも、幼稚園、小中学校が学校閉鎖になり、高齢者施設でも集団感染が発生し警戒が必要な状況が続いています。

愛の園でも、介護職員はマスクを着用して業務にあたっています。また、1月にはノロウイルス対策の園内研修を田辺保健所の指導により実施し、全職員が参加しました。

ご来園の皆さんも、手洗い、うがいを確実に行っていただき、感染予防にご協力くださいますようお願いいたします。(C)